

価値創造ストーリー

SWCCグループは、2030年度(2031年3月期)までに目指すビジョン「SWCC VISION 2030」のなかで掲げる「ありたい姿」の実現に向けて、事業ポートフォリオの変革を進めます。

エネルギー・インフラ事業

- 超高压ケーブル
- 電力用機器部品 (SICONEX®(サイコネックス))
- 架空送電線
- 産業用電線・ケーブル
- 消防用ケーブル
- 電設資材
- 免震・制振・防振

電装・コンポーネンツ事業

- 高機能無酸素銅線 「MiDIP®(ミディップ)」
- 銅合金
- 各種巻線
- リッツ線

通信・産業用デバイス事業

- 光ファイバケーブル
- LANケーブル
- ワイヤハーネス
- ヒートローラ

新たな事業・ソリューション ビジネスへの取り組み

- ゼロトラストセキュリティ
- SWCC Smart Stream (スマートストリーム)
- 超電導ケーブルシステム

現在の ビジネス

〔中期経営計画〕

Change & Growth SWCC 2026

2022～2023年度

総合電線メーカー

- ・キャッシュ・カウ事業として成長を支える
- ・コア技術の進化

中計ローリング2024

高付加価値製品の提供

- ・高付加価値製品を拡充、川下戦略を推進
- ・新たなコア技術の獲得
- ・M&Aの活用

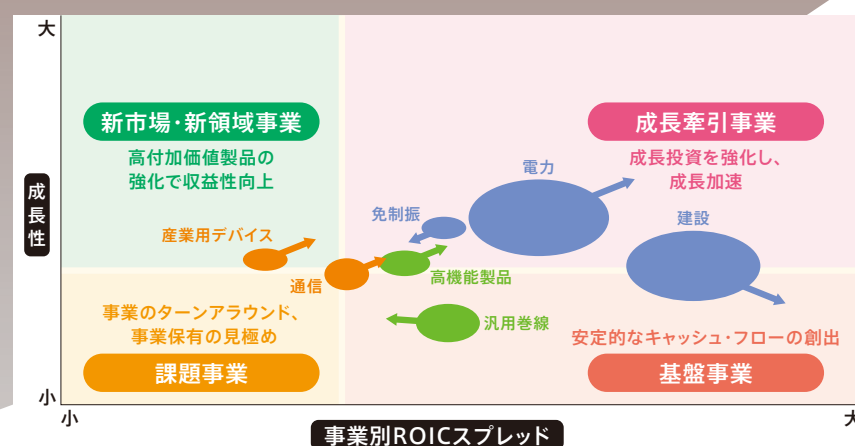
Change

ROIC経営の浸透による収益力アップ
DXによるバリューチェーン改革と
ビジネスモデル変換
コーポレートガバナンス体制の強化

Growth

社会解決型ビジネスの推進
成長事業への
ポートフォリオシフト
拡大投資による成長フェーズへの移行

2023年度時点の事業ポートフォリオ



成長事業へのポートフォリオシフト

事業ポートフォリオの 変革

目指す姿

[SWCC VISION 2030] Creating for the Future

ソリューション提案型の価値創造企業へ

省人化・省電力化に貢献する
ソリューションの提供

SWCCグループの価値

電線・ケーブルを中心とする多様な製品を通して培った優位性をもって、自らの企業価値を持続的に高める企業グループを目指します。より良い未来につながる新しい価値を創造するために、「お客さまの信頼を高める製品・サービス」「地球環境に優しい製品」「健全な事業活動を通じて信頼される企業価値」を追求し続けます。

社会にもたらしたい価値

SWCC独自の製品・サービスにより、持続可能な社会に貢献する価値を提供します。

- 安心で豊かな社会を目指して、激甚化する自然災害、深刻化する建物や設備の老朽化対策により、社会インフラを支えます。
- 全人類の目標である脱炭素化社会の実現につながる、再生可能エネルギー活用、EV化や安全・快適な自動運転を促進します。
- 本格的な少子高齢化社会の到来に伴う労働人口の不足、人々の豊かで健康な暮らしに欠かせない教育・医療分野が抱える課題解決も視野に入れて事業を展開します。

変革を支えるサステナビリティ経営 [5つのマテリアリティ]



価値創造プロセス

経営資本 (詳しくは19～20ページ)

財務資本

人的資本

社会・関係資本

設備資本

知的資本

自然資本

ビジネスモデル (詳しくは21～22ページ)



【エネルギー・インフラ事業】【電装・コンポーネンツ事業】【通信・産業用デバイス事業】【新たな事業】

事業の進化の基盤となる人材力

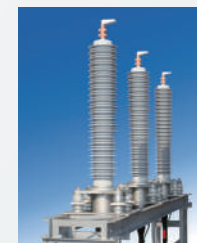
SWCCグループは蓄積してきた資本の強みを生かして、事業を通じて未来につなぐ価値を創出します。

エネルギー、デバイス、コミュニケーションなど経済や社会活動を支える領域でSWCCグループが創り出した価値は、全てのステークホルダーと共有されます。こうした価値創造プロセスは、企業価値の最大化を目指して継続的に循環されます。

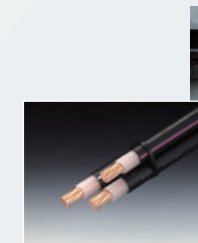
事業が生み出すもの

エネルギー・インフラ事業

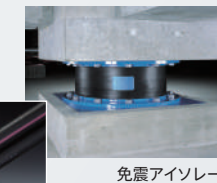
- ・電力インフラを支えるケーブル、コネクタ
- ・多様な工場・ビルなどに使用される産業用電線・ケーブル
- ・地震から生命、財産を守る免振振部材



SICONEX®



汎用電線



免震アイソレータ

電装・コンポーネンツ事業

- ・xEV用モータ向けの無酸素銅を導体とした巻線
- ・高強度、高導電率を実現した銅合金線



MiDIP®

通信・産業用デバイス事業

- ・ブロードバンド向けインフラ幹線用光ファイバケーブル
- ・オフィスで使われるLANケーブル
- ・複写機・プリンタの重要部品となる精密デバイス(ローラ)



光ファイバケーブル



LANケーブル

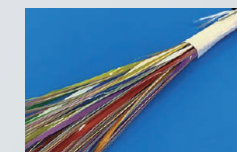


ヒートローラ

ソリューションビジネス

- ・ケーブル接続工事システム「SICOPLUS®(サイコプラス)」による高電圧電力ケーブル接続工事の施工能力維持・強化
- ・データセンターの限りあるスペースに高密度かつ効率的な配線工事を可能にする間欠接着リボン「e-Ribbon®(イーリボン)」

SICOPLUS



e-Ribbon®

ステークホルダーにもたらす価値

お取引先

公平で公正な取引を通じた相互信頼から生まれる共存共栄

お客さま

信頼して利用いただける製品・サービスの提供による事業運営への貢献

株主・投資家

持続的な企業価値の向上をもとにした安定的、継続的な株主還元

従業員

多様な人材が健康で安全・安心、かつ働きがいを持って働くことができる環境

地域社会

社会貢献への意識が高い企業経営による、地域が抱える課題解決への貢献

地球環境

グループを挙げて環境経営を推進し、バリューチェーン全体で環境負荷を低減

経営資本の充実に向けて

経営資本の強みと充実策

財務資本

- 強み** 高い財務健全性と良好なROE、現場にまで浸透したROIC経営
- 課題** 市況変動に強い財務体質の構築、さらなる収益力の強化、投資余力の確保

資本の充実策

中計ローリングプランに掲げる収益性、効率性、株主還元、安定性目標の達成

人的資本

- 強み** 優秀な開発人材、徹底した健康経営
- 課題** 従業員エンゲージメントのさらなる向上、優秀な人材の確保

資本の充実策

SWCCパーパスの浸透(経営と現場との対話の強化)、採用活動の積極化、教育・研修の充実

設備資本

- 強み** 設備投資に対する積極姿勢(2024年度 設備投資計画:90億円)
- 課題** 既存設備の老朽化、生産能力の増強、不稼働設備の合理化

資本の充実策

中計ローリングプランに掲げる設備投資計画の着実な進捗(2022~2026年度累計 360億円)

知的資本

- 強み** 新製品・サービスの開発力、高付加価値ブランドの数々(SICOPLUS®(サイコプラス)、MiDIP®(ミディップ)など)
- 課題** 技術の進化への対応、研究開発人材の不足

資本の充実策

研究開発人材の積極採用、研究開発投資の拡大

社会・関係資本

- 強み** 既存顧客との強固な関係性(ブランド力)、強固なサプライチェーン、投資家との良好な関係
- 課題** 新たな顧客の開拓、ステークホルダーとのコミュニケーション、積極的な情報発信(IRの充実)

資本の充実策

マーケティング活動の充実、ステークホルダーとの対話強化、IR活動の充実

自然資本

- 強み** 充実した環境貢献製品の展開力、エネルギー資源の効率的活用
- 課題** 環境負荷の低減、エネルギー資源の安定調達、気候変動・生物多様性確保への対応

資本の充実策

環境貢献型事業の拡大、リサイクルの促進、気候変動対応の積極化

SWCCグループには優位性の高い経営資本があります。これらの経営資本をさらに充実させ、それぞれの事業活動に投入すること、中期経営計画の推進やマテリアリティへの取り組みのために活用することで、資本の充実を図りつつ、さまざまな価値の創出に役立てています。

経営資本の活用

		経営資本						具体的な活用方法
		財務	人的	設備	知的	社会・関係	自然	
中期経営計画	ROIC経営推進によるCF創出力の強化	●	●	●	—	—	—	ビジネスモデルの進化には、人的資本を集中させ、知恵を絞る必要があります。事業ポートフォリオマネジメントの強化には、生産設備の見直し・効率化と資金の投入が不可欠です。注力事業への投資強化やM&Aの活用には財務資本や人的資本を積極的に投入します。
	資本コストの最適化	●	—	●	—	●	—	最適な資本コストの実現に向けては、財務資本の適正な配分のほか、さまざまな設備を効率よく稼働させることが不可欠です。株主に対し、獲得した資金を適切に配分するためには、利益の創出により、資金を獲得する必要があります。
	無形資産への投資	●	●	—	●	●	—	研究開発力の強化に向けて、財務資本の適切かつ機動的な投入が必要です。また、未来に向けて成長性を確保するためには、人への投資が不可欠です。研究開発や人的資本の充実には、外部のパートナーとの連携も必要となります。
マテリアリティ	[技術] 未来を創る	●	●	●	●	●	—	飽くなき研究開発のために、人的資本と知的資本の積極的な投入は必須であり、そのためには資金の投入も不可欠です。研究開発には、外部の研究機関等との連携が必要な場合もあります。
	[環境] 地球にやさしい	—	●	●	●	●	●	環境負荷の低減により、環境貢献をすることが最大の目的となります。そのためには、環境投資による再生可能エネルギーの確保や、多くの人材を投入して知恵を絞り、環境価値貢献製品を開発・実現することが必要です。
	[地域] ともに生きる	—	●	—	●	●	●	地域社会と良好な関係を維持するためには、マンパワーを投入し、地域の方々とコミュニケーションに注力することが不可欠です。また、地域の自然環境を維持することも地域とともに生きるうえで必要です。
	[人] ひとが輝く	●	●	—	—	●	—	人が生産性を高め、モチベーションを維持・向上させていくには、まずは人権を尊重し、従業員間のコミュニケーションの円滑化に努め、働きやすい職場環境づくりに専念し、また従業員に対して適正な評価を行い、かつ、昇給などを通じて労働に報いることが重要です。
	[ガバナンス] より良き企業に	●	●	—	●	—	—	強固なガバナンス・システムを構築し、それを適切に運用していくためには、適切なマンパワーの投入と、取締役会などで英知を結集させて議論を深めることが不可欠です。取締役に対する報酬の適正化や、インセンティブの付与には、資金の投入も必要となります。

●:活用のために重要・鍵となる資本

SWCCグループのビジネスモデル

SWCCグループでは現在、国内の電力インフラ、建設関連向けの電線・ケーブル、免振振部材などを取り扱う「エネルギー・インフラ事業」、電線導体用の線材や汎用モータ用の巻線などの一般汎用製品、高品位線材、xEV向けの高性能巻線などの高機能製品を扱う「電装・コンポーネッツ事業」、通信ケーブル、家電や産業機器向けのワイヤハーネス、複写機向けのデバイスを扱う「通信・産業用デバイス事業」の3事業に加え、モビリティ、インダストリ、ITを軸にした新たな事業創出に向けた開発に取り組んでいます。こうした事業では、以下に掲げる四つの要素からなるビジネスサイクルを回すことで、お客さまにとって価値のある製品・サービスを生み出しています。



事業の進化の基盤となる人材力

1 お客さまの課題を見つける

【お客さまとの信頼関係】 【課題の本質を見極める力】

SWCCグループの製品・サービスは、さまざまな産業に属するさまざまなお客さま・企業・組織を支えています。技術が進化し、社会が複雑化するなかで、私たちの製品・サービスに対するお客さまのニーズも多様化、高度化する傾向にあります。また、私たちの製品・サービスで未来社会を支えたいという強い思いから、私たちもお客さまが直面する課題の本質を見極める力を常に研ぎ澄まし、お客さまの課題解決に寄り添っています。こうしたお客さまとの関係性を続けることで、さまざまなお客さまとの信頼関係を構築しています。

2 お客さまの期待を超える

【お客さまのビジネスに対する深い理解】 【社内の英知を結集する力】

単に、お客さまから要望される製品・サービスを納入するだけでは、そのビジネスを持続させ、充実させることにはつながりません。私たちは常に、お客さまの課題に寄り添い、お客さまと共に、その答えを見つけなければなりません。そのためには、お客さまのビジネスや今後の成長戦略について深く理解すること、そのうえで、お客さまが直面する課題の解決に向け、社内の英知を結集することが必要不可欠です。

ただし、お客さま自身が、自らの課題に対して答えを見つけきれないようなこともあります。こうした局面では、私たち自身の力でお客さまに気付きを与え、お客さまの期待を超えるソリューションを提供することが重要です。私たちは、お客さまの期待を超える提案をすることを、常に考えています。

3 キャッシュを安定的に生み出す

【事業の展開力】 【飽くなき業務改善】

お客さまに対し、期待を超える付加価値の高い提案を、お客さまが満足する形で受け入れていただくことで、SWCCグループは、お客さまから適正な対価を得ることができます。私たちは、さまざまな産業のお客さまを数多く持つことで、安定的な事業ポートフォリオを構築することができます。

また事業ポートフォリオをさらに強化していくために、将来の成長性が期待できる分野に対しては、SWCCグループの経営資本を特に集中させることで、キャッシュ・フローを安定的に増大させることができます。また、効率的にキャッシュを生み出すために、SWCCグループではROIC経営を導入し、それぞれのビジネスの資本効率を高め、また飽くなき業務改善を通じて、生産性、収益性の向上にも努めています。

4 再投資により、強みに磨きをかける

【新たな投資先の見極め】 【戦略投資と回収】

事業活動を通じて獲得した資金は、次の成長のための戦略投資や運転資金として活用し、それ以外の資金はステークホルダーに対する適正配分や内部留保に活用します。戦略投資としての資金はこうした自己資金に加え、必要に応じて外部からの借入れや増資で賄うこともあります。

事業に対する資金の再投入に際しては、リスクやリターンの可能性を含め、投資先の事業を慎重に見極めたうえで、積極的かつタイムリーな投資となるよう配慮します。

こうした資金の再投入により、SWCCグループの事業はさらに強くなり、持続的な成長が可能となります。またお客さまとの信頼関係もさらに強固となることから、私たちは再び、お客さまの課題解決に向かうことが可能となります。